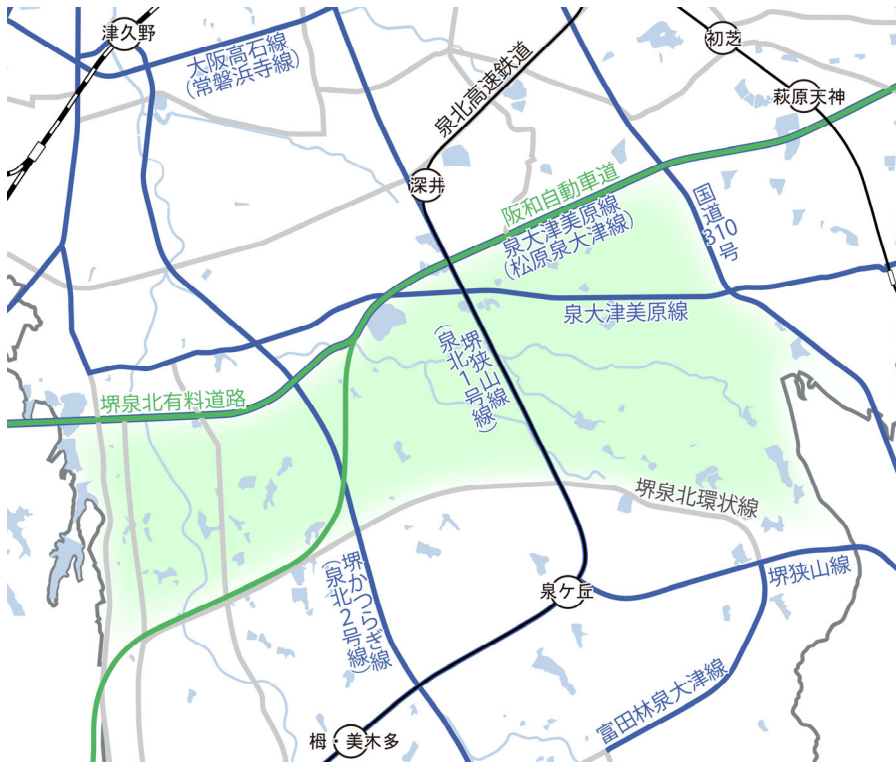


3-4 田園景観

(1) 田園景観の特性

この地域は大半が市街化調整区域に指定されており、丘陵地の裾野に広がる自然豊かな田園景観が魅力です。



集落地の景観



緑豊かな田園景観



阿弥陀池

1) 自然から見た景観特性

- 標高 30～100mのゆるやかな丘陵地形の谷間に河川が流れ、起伏に富んだ地形が形成されています。
- 陶器川・前田川沿いを中心に樹林地が残っており、多様な生物が生息する貴重な自然空間を形成しています。また、その周辺には昔ながらの集落・田園景観が広がっています。



農地が広がる田園景観

2) 歴史文化から見た景観特性

- 古代には須恵器の一大生産地であり、現在も窯跡群の遺構が残っています。
- 古くから河川やため池の水利を活用した農業が行われており、現在も受け継がれています。
- 西高野街道の沿道に集落が形成されており、現在でも街道沿いには立派な造りの農家住宅が残っています。



兒山（こやま）家住宅

3) 市街地形成の経緯から見た景観特性

【成り立ちによる景観特性】

- 大半が市街化調整区域に指定されており、昔ながらの農村・田園景観が残っています。



西高野街道沿いの集落

【拠点・軸の景観】

ア) 軸（道路・鉄道等）

○堺狭山線（泉北 1 号線）・泉北高速鉄道

- 石津方面から深井を通して光明池・和泉中央方面へと続く主要な幹線道路で、平井や田園周辺では集落周辺の農地・空地等の市街化が進んでいます。



堺狭山線（泉北 1 号線）沿道

○泉大津美原線（松原泉大津線）・阪和自動車道

- 阪和自動車道の高架と並行して市域を東西に走る幹線道路です。沿道は市街化が進み、商業・業務施設や工場、住宅などが建ち並んでいるほか、田畑や建設資材置き場なども散見されます。
- 原池公園の整備により、阪和自動車道の高架下の一部がスケートボードパークとして活用されています。



阪和自動車道高架下に整備された原池公園スケートボードパーク

4) 主な景観資源・景観特性

この地域の特徴的な景観資源や特性を紹介します。

a 河川沿いに広がる田園景観

【特性】

- 陶器川・和田川沿いに広がる貴重な自然・農業生産空間としての田園景観
- 河川沿いに点在するため池・樹林地



① 陶器川



② 陶器川周辺の農地



③ 和田川

b 幹線道路沿道の景観

【特性】

- 田園景観を貫く機能性を有する幹線道路のまちなみ



④ 泉大津美原線（松原泉大津線）

c 農村集落地の景観

【特性】

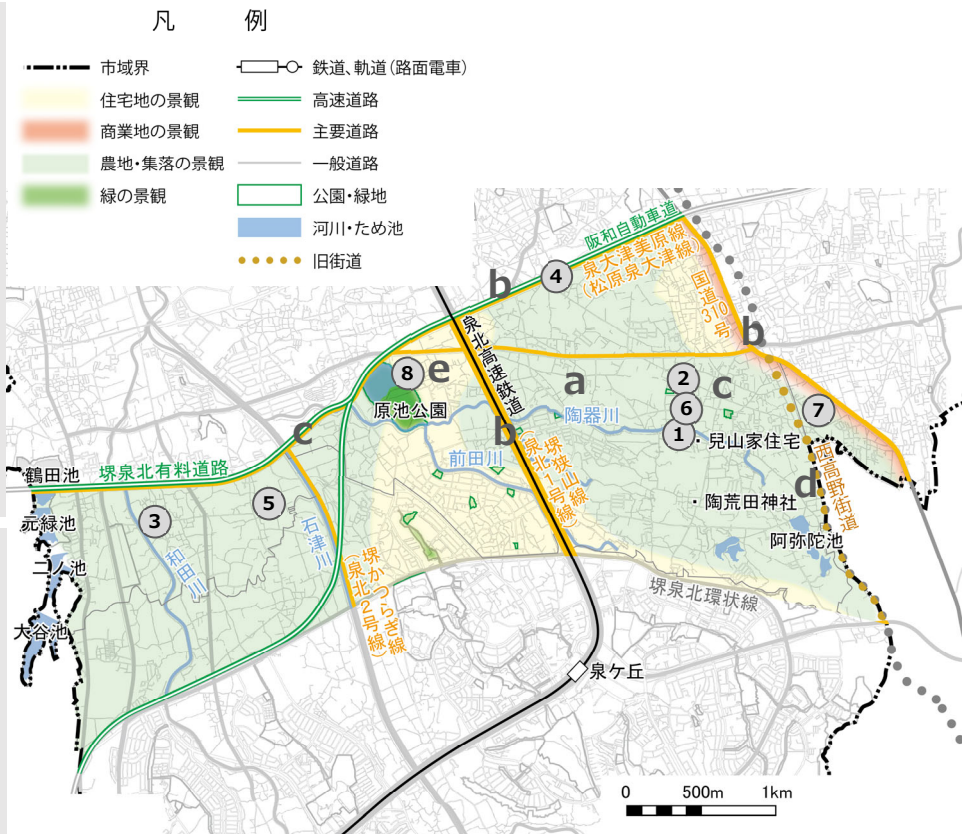
- 昔ながらの生活がうかがえる農村集落のまちなみと、周辺の農地が一体となった景観



⑤ 太平寺集落のまちなみ



⑥ 田園と一体になった集落のまちなみ



d 旧街道沿いに残るまちなみ景観

【特性】

- 西高野街道など、旧街道沿いに残る歴史的なまちなみ



⑦ 西高野街道

e 大規模な公園・緑地の景観

【特性】

- 田園景観の中にあつてスポーツ・レクリエーションが楽しめる開放的な景観



⑧ 原池公園



(2) 田園景観の課題

この地域では、丘陵地にかけて広がる素朴な田園景観の保全や伝統的な集落地の景観形成が課題です。戸建て住宅地の開発や幹線道路沿いの開発による農地の喪失も進んでおり、新たな開発と田園景観との調和も課題です。

また、幹線道路沿道ではさまざまな土地利用が混在し、乱雑な印象を与えるものもあるため、周辺の田園景観との調和が求められます。

(3) 田園景観の方針

貴重な自然・農業生産空間として素朴で美しい田園景観と伝統的な集落・街道景観を保全するため、田園景観形成の目標を次のように定めます。

丘陵地に沿ってなだらかに広がる田園景観の保全

そして、この目標を実現するための方針を次のように定めます。

1. 起伏のある地形、田畑、ため池、河川などからなる貴重な自然・農業生産空間としての田園景観の一体的な保全を図ります。
2. 幹線道路沿道や新たに市街化が進みつつある地域では、集落景観と調和した落ち着いた景観形成を図ります。
3. 背後の丘陵地・山なみへの見通しや周辺の集落景観との調和に配慮し、農地の潤いを感じられる伝統的な農村景観の保全を図ります。
4. 伝統的な集落や街道沿いに位置する歴史資源の保全を図ります。

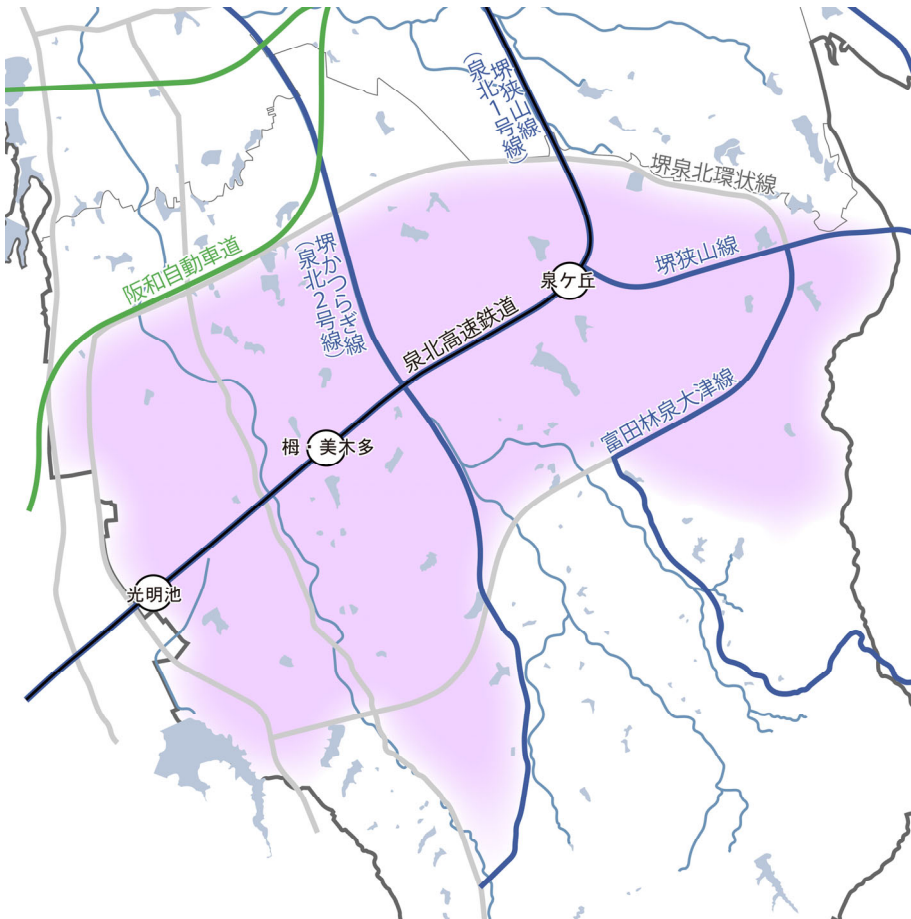
3-5 丘陵市街地景観

(1) 丘陵市街地景観の特性

丘陵市街地は、泉北ニュータウンとその谷あいからなる地域です。

泉北ニュータウンは高度経済成長期の住宅需要に応えるため、既存の樹林やため池を残すなど自然景観を活用しながら新住宅市街地開発事業によって整備された大規模な計画的市街地です。鉄道、道路、公園等の都市基盤や戸建て住宅、集合住宅、商業施設や公共施設が計画的に整備され、緑豊かで整然とした住宅地景観が形成されています。ニュータウンの建設から時間が経過して住宅や施設が更新時期を迎えていることから、駅前施設や公的賃貸住宅の更新、公園の再整備、大学病院等の新たな都市機能の導入など、持続発展に向けた取組が進められています。

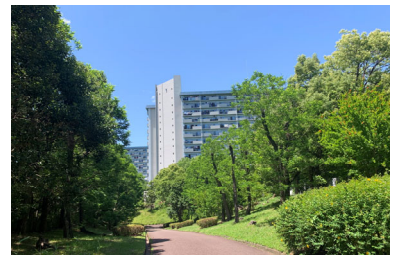
谷あいの地域には石津川や和田川に沿って、丘陵地の斜面林、棚田、段々畑などの里山景観が残っています。



泉北ニュータウン



泉北ニュータウンの谷あい



緑豊かな環境に立地する集合住宅

1) 自然から見た景観特性

- 標高 30～100mの丘陵地形で尾根部分に泉北ニュータウンが立地し、谷間の河川沿いに農地や集落が分布しています。谷間を中心に美しい里山景観が残り、和田川・石津川沿いには里山と一体となった農地・集落景観が一望できます。
- 泉北ニュータウンは自然地形を活用した開発がなされており、斜面地に残された自然の緑や整備された各種公園、それらとネットワークを構成する泉ヶ丘緑地などの緑地や緑道が市民の憩いとなる空間を形成し、緑に包まれるような景観を創り出しています。

2) 歴史文化から見た景観特性

- 昭和 30 年代までは、和田川・石津川の流れる谷間に農地が広がり、集落地が点在している山間部の農村地帯でした。今でも谷間の田園景観は当時の面影をしのばせます。区域内には櫻井神社をはじめとする歴史的な景観資源が点在しています。

3) 市街地形成の経緯から見た景観特性

【成り立ちによる景観特性】

- 市街地では、昭和 40 年（1965 年）から 58 年（1983 年）にかけて新住宅市街地開発事業による泉北ニュータウンの建設が進められました。昭和 46 年（1971 年）に泉北高速鉄道が泉ヶ丘まで、昭和 52 年（1977 年）には光明池まで整備され、さらに平成 5 年（1993 年）には阪和自動車道の堺インターチェンジ～岸和田和泉インターチェンジ間が開通し、市街地の基盤がほぼ整いました。
- 泉北高速鉄道の各駅を中心に、生活サービスを支える商業・業務地や公的賃貸住宅・戸建て住宅などの住宅地が計画的に整備されました。
- 泉北ニュータウンでは、自然の地形や既存のため池などを活用した眺望景観の創出に配慮して計画された集合住宅も見られます。
- 泉ヶ丘都市拠点における駅前商業施設の更新や大学医学部及び病院の建設、樺・美木多駅前広場の再整備、近隣センターにおける機能強化など、地域の拠点における施設更新が進んでおり、市街地景観が変わりつつあります。



農地が広がる田園景観



ニュータウンの緑地



櫻井神社



泉北ニュータウンの交通動脈

【拠点・軸の景観】

ア) 拠点（駅前等）

○泉ヶ丘駅周辺

- 駅前商業施設の更新にあわせて、駅前地域の活性化やにぎわいの創出に向けた取組が進められています。
- 大学医学部及び病院の立地にあわせて、周辺道路の再整備による利便性の向上や公園の再整備とあわせた健康長寿の取組が進められています。
- 公的賃貸住宅の建替の促進やそれに伴い創出される活用地への新たな都市機能の導入に向けた取組が進められています。



泉ヶ丘駅前



梅・美木多駅前

○梅・美木多駅周辺

- 南区役所のほか、梅文化会館や南堺警察署などの公共公益施設が立地しています。
- 駅周辺の商業施設は共同住宅とともに更新されています。また、駅前広場の再整備が進められ、安全安心で利便性が高く、周辺施設と一体的なにぎわいを感じられる駅前空間の形成が期待されています。



光明池駅前

○光明池駅周辺

- 商業機能をはじめとした施設や共同住宅を中心とした住宅、またその周辺には公園が立地しています。
- まちびらきから約 50 年が経ち、駅前地域に立地する施設の更新時期に差し掛かっています。



堺狭山線（泉北 1 号線）

イ) 軸（道路・鉄道等）

○堺狭山線（泉北 1 号線）・泉北高速鉄道

- 泉北高速鉄道に沿って走る堺狭山線は泉北ニュータウンの各拠点を結ぶ主要な幹線道路で、道路からは周辺の中高層住宅や緑がみられ、広幅員の道路が広がりのある景観を創り出しています。



堺かつらぎ線（泉北 2 号線）

○堺かつらぎ線（泉北 2 号線）

- 石津川の谷筋に沿って南北に走る幹線道路で、沿道には商業施設のほか、資材置き場なども散見されます。

○堺泉北環状線

- 泉北ニュータウンの外周を走る道路で、一部の区間では住宅地との関係に配慮した緩衝緑地帯が設けられ、ゆとりある空間構成となっています。

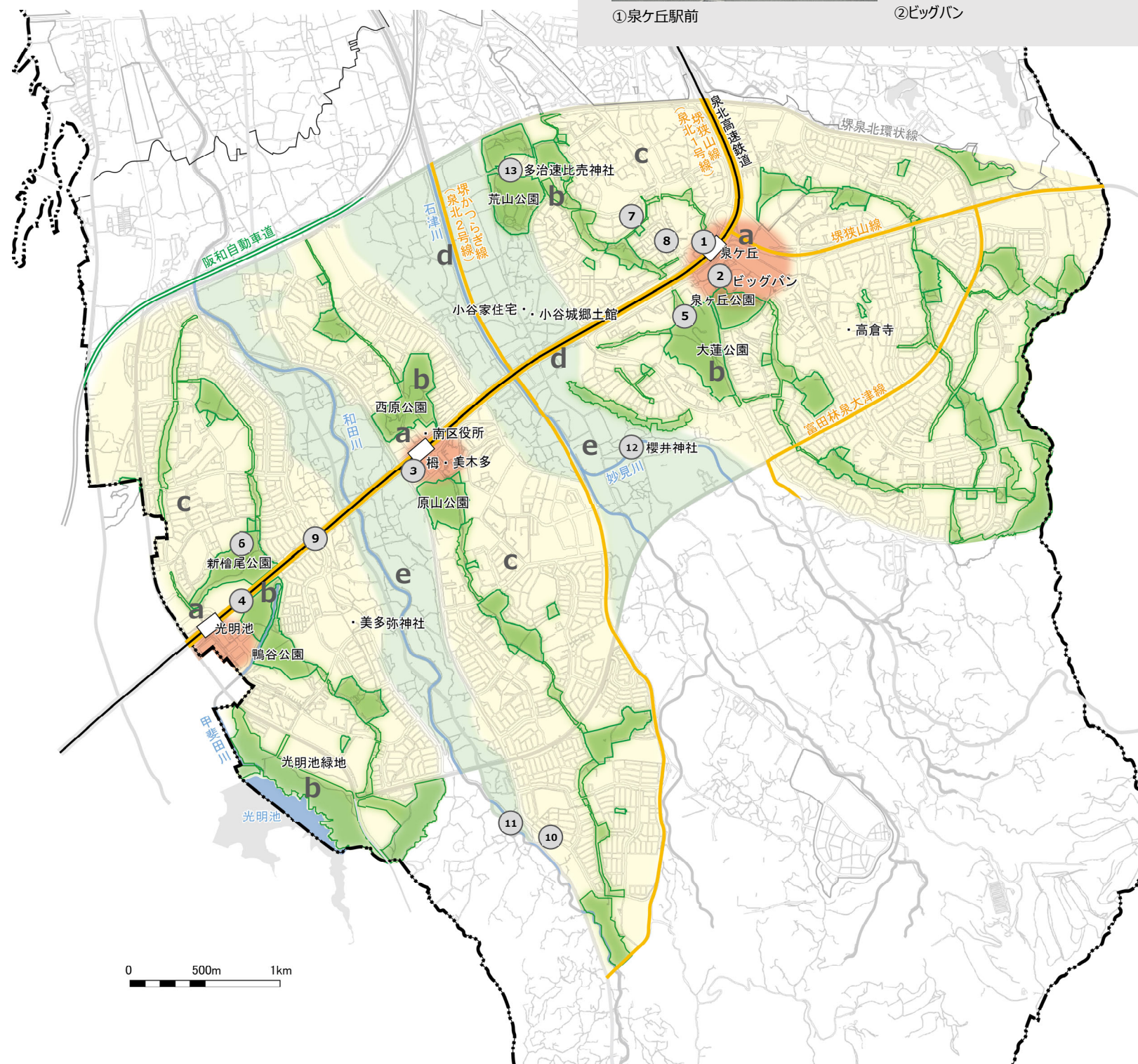


堺泉北環状線

4) 主な景観資源・景観特性

この地域の特徴的な景観資源や特性を紹介します。

凡	例
市域界	鉄道、軌道(路面電車)
住宅地の景観	高速道路
商業地の景観	主要道路
農地・集落の景観	一般道路
緑の景観	公園・緑地
	河川・ため池



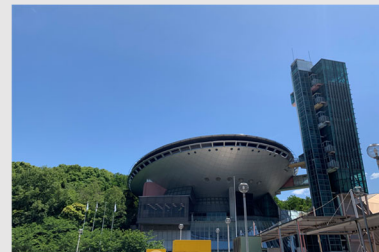
a 駅前の拠点の景観

【特性】

- 計画的に配置された商業施設や公共施設が生み出すにぎわいのあるまちなみ



① 泉ヶ丘駅前



② ビッグパン



③ 桐・美木多駅前



④ 光明池駅前

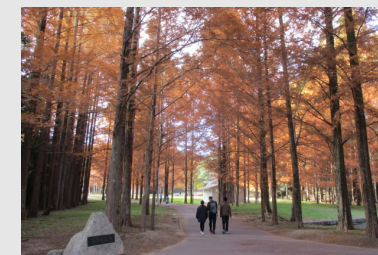
b 大規模な公園・緑地の景観

【特性】

- ニュータウン内に計画的に整備された大規模な公園・緑地・緑道による景観



⑤ 大蓮公園



⑥ 新檜尾公園

c 成熟したニュータウンのまちなみ景観

【特性】

- 自然景観を活用して計画的に整備された泉北ニュータウンの成熟したまちなみ
- 緑豊かでゆとりある敷地が特徴的な郊外住宅地



⑦ 竹城台の住宅地のまちなみ

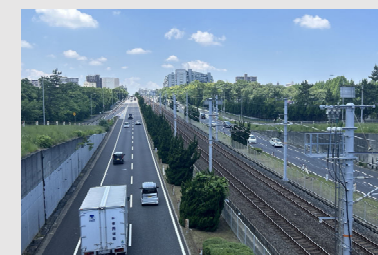


⑧ 公的賃貸住宅のまちなみ

d 幹線道路沿道の景観

【特性】

- 周辺の商業施設や集合住宅、緑が連なるニュータウンの骨格となるまちなみ



⑨ 堺狭山線（泉北1号線）

e 谷あいの集落地景観

【特性】

- 石津川・和田川の谷あいに位置する里山と農地、集落が一体となった田園景観
- 櫻井神社など由緒ある寺社などが残る歴史が感じられる景観



⑩ 谷あいの集落と田園の景観



⑪ 和田川沿いの集落の景観



⑫ 櫻井神社



⑬ 多治速比売神社

（２）丘陵市街地景観の課題

丘陵市街地は、丘陵地に位置する泉北ニュータウンとその谷あいの地域で構成されています。

谷あいにおける農地、河川・ため池、山林などの貴重な景観資源については、その保全に努める必要があります。計画的に街区形成が進められた泉北ニュータウンでは、現在においても緑豊かで整然とした住宅地景観が形成されており、地区の特性に応じて良好な景観の保全と適切な更新を図る必要があります。とりわけ、駅前等を中心に施設の建替が進められており、周辺の景観特性を踏まえた配慮が求められます。

また、幹線道路沿道を中心に商業施設などの立地も見られるため、周辺の田園景観との調和が求められます。

地域別の景観形成の課題としては以下が挙げられます。

- 泉北ニュータウンの緑豊かな環境を保ちつつ、駅前や住宅団地などでは建物の更新にあたっては、交流を生み、にぎわいのある魅力的な景観を形成することが課題となっています。
- 多様な自然・歴史資源により形成される美しい谷あいの景観や、まとまった農地が残る田園の景観を保全する必要があります。
- 地域の拠点や沿道型の商業施設などが並ぶ幹線道路沿いでは、屋外広告物がにぎわいを演出する反面、景観を阻害している事例も見られるため、沿道景観の形成が課題となっています。



(3) 丘陵市街地景観の方針

泉北ニュータウンでは計画的に開発された郊外住宅地の成熟した良好な景観を保全し、丘陵の谷あいの地域や農地・ため池が広がる田園地域では、自然と集落の風景が調和した美しい景観を保全するため、丘陵市街地景観の目標を次のように定めます。

活力を感じる景観形成と 緑豊かな郊外住宅地景観、周辺の自然及び田園景観の保全

そして、この目標を実現するための方針を次のように定めます。

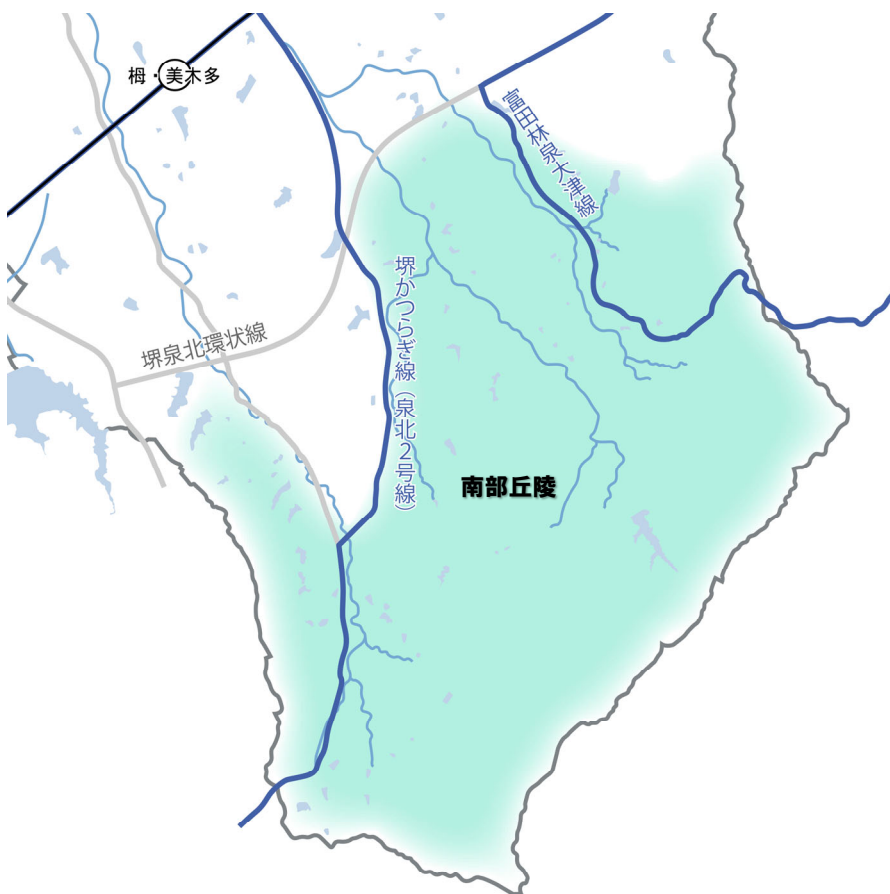
1. 泉北ニュータウンでは緑豊かな住宅地景観を保全しつつ、駅前や近隣センターなどで多様な都市機能が集積したにぎわいや交流を生み出す魅力的な景観形成を図ります。
泉ヶ丘都市拠点では豊かな緑空間や商業機能、医療機能等を強みとした幅広い世代の人でにぎわい、交流する魅力的な景観とします。
2. 泉北ニュータウンの公的賃貸住宅や公共施設の更新にあたっては、周辺の土地利用と調和した魅力的な景観形成を図ります。
3. 幹線道路沿道においては、節度あるデザインや沿道の緑化により、豊かな緑と調和した落ち着いた景観形成を図ります。
4. 谷筋の集落地では、農地や河川・ため池などの自然資源と一体となった潤い豊かな景観形成を図ります。
5. 農地、河川・ため池、丘陵地の斜面樹林などの自然景観や、寺社などの貴重な歴史資源の保全を図ります。

3-6 丘陵地景観

(1) 丘陵地景観の特性

里山として人々の営みの中で守り育まれてきた南部丘陵には、シリブカガシなどの常緑高木に加えコナラなどの落葉樹林が植生し、河川やため池なども自然に近い状態に残るなど、農業・酪農の場と一体となって、四季に美しい自然環境が維持されており、本市を代表する自然景観となっています。

丘陵地の豊かな自然は緑の景観として市民の生活に潤いを与え、レクリエーションの場となるだけではなく、ヒートアイランド現象の緩和や生物多様性の維持など都市環境の保全にも重要な役割を果たしています。



南部丘陵の里山と田園



内河池



鉢ヶ峯フラワー農園

1) 自然から見た景観特性

- 河内長野市から続く標高 100m以上の山麓地形の南部丘陵は、市街地のすぐ近郊にありながら、シリブカガシの群生地のほか雑木林、ため池、河川が育む多様な植生や動植物、生産の場、歴史資源があいまって、四季の変化に富む豊かな里山景観が形成されています。
- 鉢ヶ峯地区の田園景観や別所地区のみかん畑、公園墓地の桜などの自然景観が見られます。



田園景観

2) 歴史文化から見た景観特性

- 法道寺をはじめとする歴史的な景観資源が点在しています。法道寺は 7 世紀創建の名刹で、鎌倉時代の食堂、南北朝時代の多宝塔など貴重な遺構が残されています。
- 旧来からの農家住宅を中心とした農村景観が見られます。



法道寺

3) 市街地形成の経緯から見た景観特性

【成り立ちによる景観特性】

- 全域が市街化調整区域に指定されており、谷間に形成された集落・田園景観が残っています。
- 豊かな自然を活用したレクリエーション施設や、泉北ニュータウン開発計画を契機に建設された酪農団地が立地しています。



和田川と農村景観

4) 主な景観資源・景観特性

この地域の特徴的な景観資源や特性を紹介します。

a 自然の中に息づく里山景観

【特性】

- 河川の谷あい広がる農地と集落が一体となった景観
- ハーベストの丘など、豊かな自然を活用したレクリエーション施設のにぎわい



① 田園景観



② 里山景観・丘陵地の景観



③ ハーベストの丘

b 南部丘陵の自然景観

【特性】

- 丘陵地に残る樹林地やため池、河川など、四季の変化に富む豊かな自然が生み出す景観



④ 内河池



⑤ 堺自然ふれあいの森



⑥ 南部丘陵の樹林地

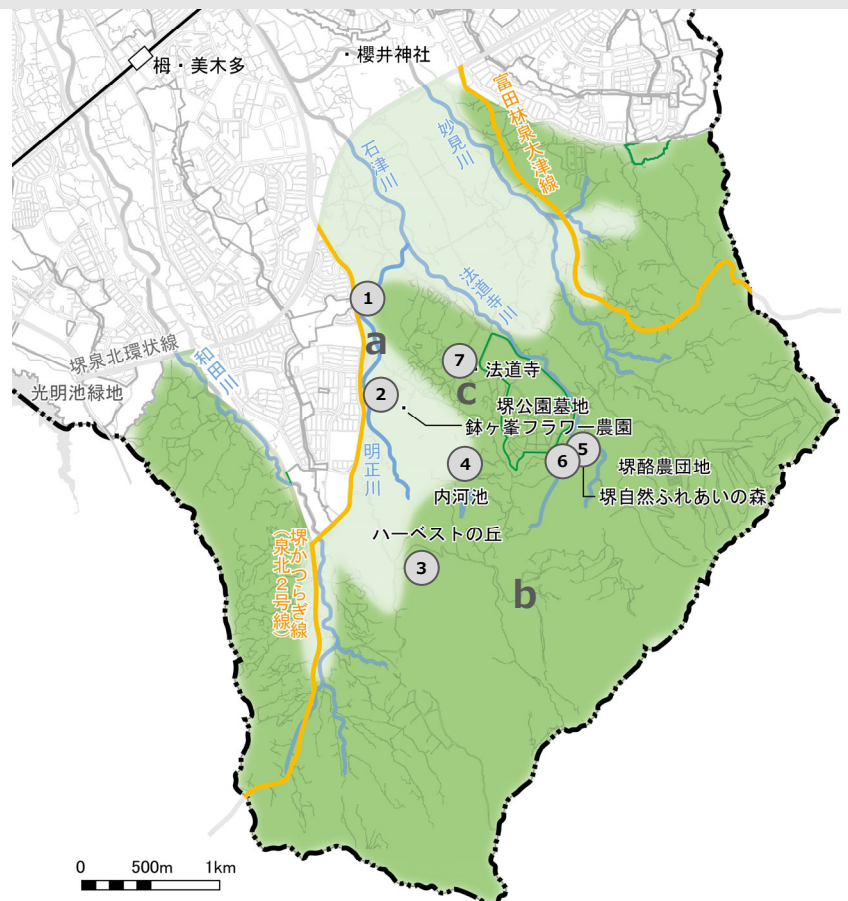
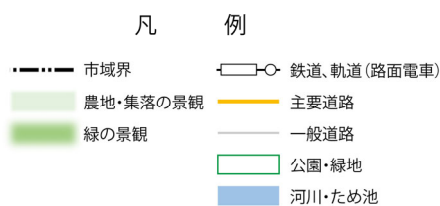
c 名刹が生み出す歴史ある景観

【特性】

- 法道寺をはじめとする歴史と文化を感じることのできる景観



⑦ 法道寺



(2) 丘陵地景観の課題

丘陵地には豊かな自然が残されており、市街化調整区域に指定されていることから、開発等は原則として抑制されていますが、例外的に許可されたまとまった住宅地が形成されるなどの変化も生じています。また、農業形態や生活様式の変化に伴う景観や生物多様性の損失、開発や残土処分などによる土地利用転換に伴う樹林地の減少も生じていることから、今後とも周辺の豊かな自然景観との調和をより一層図っていく必要があります。

南部丘陵は農山村の暮らしや生産の場として活用され、維持されてきましたが、引き続き市民などとの協働により身近な自然環境の保全に取り組み、市民が自然や農業に親しむ場としてふさわしい活用を検討する必要があります。また、都市化が進展する中、農地や昔ながらの農村集落のまちなみの保全も課題となっています。

(3) 丘陵地景観の方針

豊かな自然が維持され樹林地や農地、ため池、河川などが一体となった里山景観を保全しつつ、ゆとりある自然とのふれあいの場として活用を図るために丘陵地景観の目標を次のように定めます。

多様な自然と人の営みが一体となった丘陵地景観の保全

そして、この目標を実現するための方針を次のように定めます。

1. 農業の振興と市民協働により、丘陵地の豊かで多様な里山景観の保全を図ります。
2. 丘陵地に残る樹林地などの緑やため池・河川などの水辺といった豊かな自然景観の保全を図ります。
3. 景観に影響を及ぼす行為を抑制し、周辺の自然と調和のとれた景観形成を図ります。
4. まとまった住宅地では、周辺の自然景観に配慮した緑豊かな住環境の形成を図ります。



1) 自然から見た景観特性

- 大阪湾に面した埋め立て地で、スケールの大きい広がりある海辺の景観が特徴です。海に開けた場所からは、明石海峡大橋や美しい夕日を望むことができます。
- かつては大気汚染や水質悪化などの公害が問題となりましたが、現在は状況が改善され、堺浜の人工海浜や堺第 7-3 区での共生の森づくりなどの自然環境の回復・再生の取組が行われています。



海釣りテラス

2) 市街地形成の経緯から見た景観特性

【なり立ちによる景観特性】

- 昭和 30 年頃から臨海部の埋め立てが始まり、鉄鋼などの重化学工業が集積する大阪湾岸の臨海工業地帯として発展してきました。
- 近年は工業だけでなく商業施設の立地や公園、広場が整備されるなど、海辺の景観形成が進み、憩いやレジャーの場所として親しまれています。



工場敷地の緑化

【拠点の景観】

ア) 拠点

○臨海都市拠点

- 環境先進型の工場や物流施設からなる産業拠点が形成され、先進的かつスケールの大きいダイナミックな景観が見られます。
- J-GREEN 堺や堺浜自然再生ふれあいビーチが整備され、また堺泉北港堺 2 区基幹的広域防災拠点では、平時は市民が自然とふれあえる場「海とのふれあい広場」として開放されるなど、憩いやにぎわいのある海辺空間が形成されています。
- ごみの資源化や敷地内緑化など、環境負荷の低減に配慮した堺クリーンセンター臨海工場が整備されています。



複合商業施設



環境先進型の工場群



J-GREEN 堺

3) 主な景観資源・景観特性

この地域の特徴的な景観資源や特性を紹介します。

a 環境との共生が進む臨海部の景観

【特性】

- 堺浜の人工海浜や堺第7-3区での共生の森づくりなど、自然環境の回復・再生の取組が進む緑の景観
- 工場の敷地の緑が成熟したうろいのある景観



① 堺浜自然再生ふれあいビーチ



② みなと堺グリーンひろば



③ 堺第7-3区共生の森

b 大規模な工場が集積するダイナミックな景観

【特性】

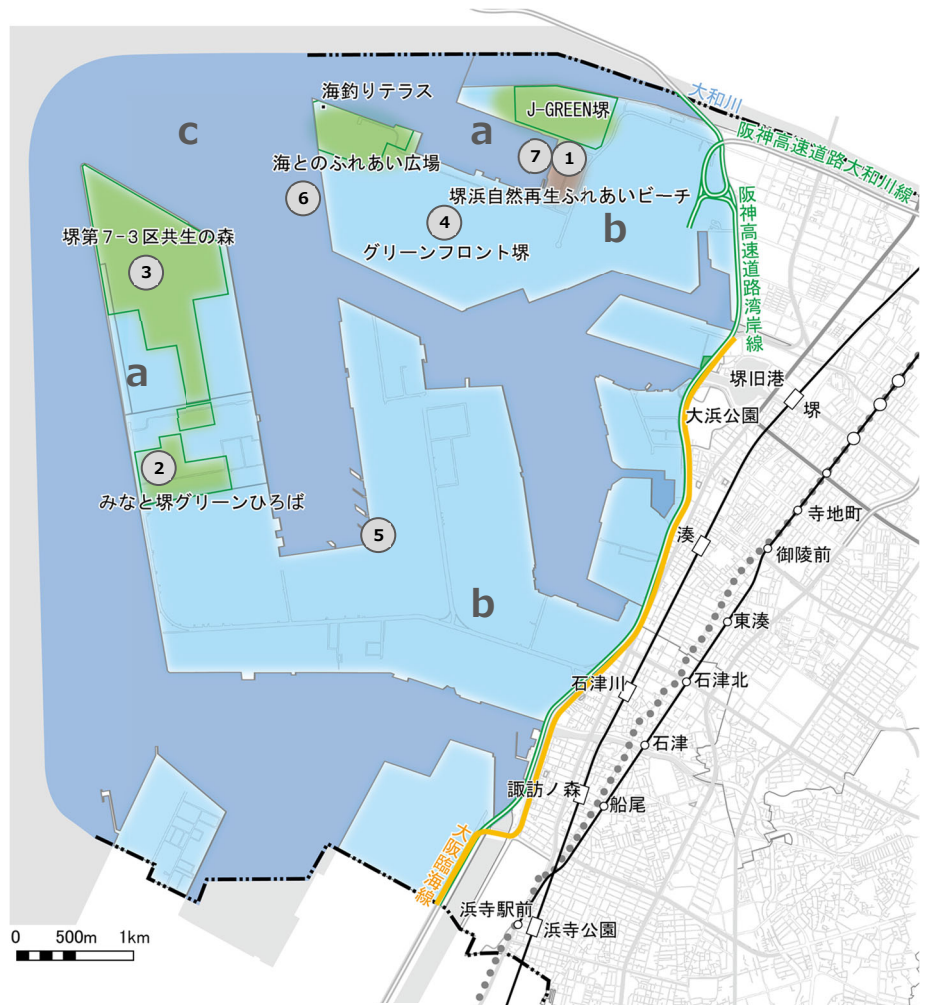
- 環境先進型の工場群や物流施設などからなる先進的かつスケールの大きいダイナミックな景観



④ グリーンフロント堺



⑤ 大規模な工場群



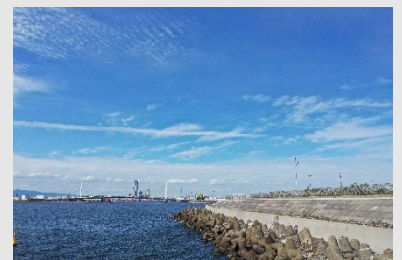
凡 例

- | | |
|---------|---------------|
| --- 市域界 | ○ 鉄道、軌道(路面電車) |
| 住宅地の景観 | 高速道路 |
| 工業地の景観 | 主要道路 |
| 緑の景観 緑地 | 一般道路 |
| | 公園・緑地 |
| | 河川・ため池 |

c 広がりある海辺の景観

【特性】

- 美しい夕日を望める大阪湾に面したスケールの大きい広がりある海辺の景観



⑥ 海辺の景観



⑦ 夕日が沈む大阪湾



(2) 臨海市街地景観の課題

臨海市街地は工場や研究拠点など規模の大きな建築物や工作物が建ちやすく、個々のデザインが景観に大きく影響を与える地域です。そのため、建築物等のデザインについて相互に調和を図っていくことが求められます。

また、海に開かれた立地にあることから、対岸など海からの見え方にも配慮してその親水性を強みとした景観形成を進めることが課題です。

(3) 臨海市街地景観の方針

海に開かれた地域の特性を活用して自然環境の回復とにぎわいの創出を図り、また環境と共生した産業集積エリアとして臨海都市拠点を形成するため、臨海市街地景観の目標を次のように定めます。

産業と環境が共生する躍動感ある臨海部の景観形成

そして、この目標を実現するための方針を次のように定めます。

1. 環境と共生するエリアとして、自然環境の回復や環境に配慮した建築デザインを誘導しながら、親水性を強みとした海に開かれた景観形成を図ります。
2. 大規模な工場や物流施設については、相互に調和した質の高いデザインにより、まとまりと活力のある景観形成を図ります。
3. 臨海都市拠点においては、海辺の特性を強みとした商業施設や水と緑の憩いの空間、スポーツ・レクリエーション機能等により、にぎわいある景観形成を図ります。